大西邦敏氏講演

最近の獨逸事情

昭和十三年一月二十

國政研究會

群馬県立図書館
中島文庫

6582

注 意 事 項

○資料は大切に扱いましょう。
○資料は転貸借はお断りします。
○15日間の期限に必ず返して下さい。
○資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話（0272）㉛3008番

昭和十三年一月三十八日

大西邦敏氏備忘

最近の独逸事情

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

No.
國政研究會
15. 3. 20,000 B
10 × 20

[illegible]

[illegible]

[illegible]

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

よりはかへつて短期の三ケ月とか或は半年とか云ふ都にとちらで目的を持つて計畫を樹てあちらに行つて旅行されて実際に見た方の方が一年八ケ月ばかりあちらへ滞在して居りました。目的が學校の留學と云ふことで実際は旅行は好きな方ぢやなく、又旅行する餘裕もなく、勉強も出來た訳ぢやありませぬ、主として参考書を集めると云ふ様な点に主わを注いだと云ふ様なことで別段あちらで申上げるやうなことはないのであります、むしろ私

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

よりはかへつて短期の三ケ月とか或は半年とか云ふ様にとちらで目的を持つて計畫を樹て、あちらに行つて旅行されて実際に見た方の方がむしろ永く居た私共よりはその成果は大きいのであります。併しもう今日は何でもいからしやべれと云ふことで誠につまらない話でございまして、又、とりとめのない断片的のお話になりますが、どうぞ其の点はお許しを願い度いと思います。

先づ今日のドイツはナチスの支配下にあるが、ドイツに於ては果してナチスと云ふものが必要であつたかどうか、私はドイツに於ては少くとも現政権は必然性を持つてゐたものであると、さう私は感ずるのであります。私共があちらに行く毎にはドイツは学術の方面をはじめあらゆる方面に於て非常な進歩をしてゐる国家である。隨つて定めし農業の方面に於ても非常なる進歩発達を遂げてゐる国家

であると我々は期待して行つたのであります、が、併し乍ら行つて見ますと其時には家に相違して居つたのであります。それは止むを得ないことでありましてドイツは地理的に北方に偏在してゐる寒くて一家庭生活は別として自然は寒くて到底作物に適しません。大部分は小麥を作つて居りますが、而もその小麥は集約農業でなくして粗放農業であります、畔も作らずして左に種をばら撒いてゐると云ふ狀態であります、又耕地の半分は休を作る

牧場でございまして、ベルリンの近辺ベルリンばかりでなくその他の大都市の近辺にはその都市に供給すべきところの野菜物とかいふものかゝは作られて居りますが、併し左う到底このドイツの自然から産する産物ではドイツの人口を養ひ切れない。從って必然的にドイツは野菜にしても海外から輸入を仰がなければならぬ。ふ麦は勿論、又生活の必需品であります。バターにしてもチーズにしてもドイツの生産ではドイツの人口を養へないと云

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

ふ様な状態で非常にドイツは貧乏な国であります。私が歐洲諸国を遍歴した所より見ますとドイツが一番工業は別といたしまして農産物に於ては最も貧弱ぢやないかと思ひました、斯様に国民の日常生活を支るところの農産物が貧弱である為その代償としてドイツは先づ工業と云ふものに全力を注がなければならなかつたのであります。従つてドイツに於て工業が盛んになつたことは偶然ぢやないのであります。ドイツ人が工業方面に於

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

て特に能力が進んでゐた為ドイツに非常に強大なる工業が発達したと云ふのちやなく、むしろドイツには工業を養はずを得なかつたと云ふ必然性があつたのであります。工業品を生産して外国に出し、外国から日常の生活に必要なる物資を輸入しなければならない。これがドイツ人をして工業に全力を注がしめ而して工業をして大なる発達を遂げしめた所以ぢやなかろうかと左様に感ずるのであります。

さう云ふ様に非常に国家が貧乏である上に

ドイツはあの大戰に於て敗北した結果、御承知の樣に、尨大なる賠償金を背負はざるを得なかつたのでありまして、斯う云ふ樣な狀態に於てドイツはどうしても個人々々と云ふものを本位にして、國家を第二義にする事は到底許されなかつた、賠償金を支拂ふものは國家である、個人はこれを國家に轉嫁する訳でありますがこの爲個人本位であつては到底ドイツ國を盛り立てることは出來ない、從つてどうしてもドイツはデモクラシーではやつて

行けない、必然的に強力なる国家を持たなければならない、国家の力が個人に優先しなければならない、斯う云ふ必然性がドイツにはあつたと私は思ふのであります。これがドイツをして今日のナチスを生ましめた最大の原因であると思います。

そこで然らば今日のナチスは相當基礎が確立されてゐるか？よく我々は人々から今日のドイツの政權は永續するであらうかどうか、万一ヒットラーが斃つた時ドイツはどうな

るであらうか、斯う云ふ質問を度々受けるのでありますが、私の考へるところではドイツの現政權は左程貧弱な、薄弱なものではない、もう既に基礎は確立されてゐると思ふ、然らばどう云ふ点に於て確立されてゐるか、どう云ふ点からドイツの現政權が確立されてゐるかと云ふ考へが生れるかと云ふと、ナチスの生れたのはドイツには必然的であつたルゲヨワは第四階級――勞働者に非常な恐怖ナチス政權前に於きましては大、中、小ブ

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

を受けて居つた、從つて大、中、小のブルジョワは既に労働第四階級に對して鬪争する心構へが出来てゐた、この点から現政權は確立してゐるのでございますが、その他ドイツに於ては日本と比較して社會政策方面は非常に進んで居ります、この点はナチスドイツに於て到底日本と比較にならぬ程であります、ドイツは歐洲に於ては社會立法は遅れてゐるかも知れませんが日本と比較すると雲泥の差があります、国民は貧困なものと雖も相當社會

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

政策的の恩恵に浴してゐる、從つてその住居、日常生活と云ふ樣なものは左程貧困をしてゐない、又ドイツ人は個人生活に於ては非常に恵まれてゐる、成程物資が非常に不足して居りますから生活費は緊縮はして居りますが、然したら夫婦生活と云ふ樣なものは非常に開放されてゐる、或は文化生活――活動寫眞、演劇と云ふ樣なものは大なる部分に開放されて居りますので、御存知の樣に强力を以て圧迫されても國民にはそれに服するだけの個人

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

生活の餘裕をもつてゐる、この点が現政權を維持せしめ又その基礎を鞏固ならしめ、永續性をもたしめる ひとつの原因になつてゐると思ふのであります、

それから現政權が鞏固であると云ふもうひとつの原因は組織が完成してゐる、ナチスは非常に組織が整つて居ります、これは既に申上げるまでもないことであつて、上から下へ一下から上へなくして上から下へ全国に細胞組織が完成されて居りまして、ナチスの組織

No.
12. 3. 50,000 B
10 × 20
國政研究會

は非常に強大である、がこの点がドイツ現政構をして輩出たらしめてゐると私は思ふのであります。

それから第二にはドイツは第二の国民――次のドイツを背負ふべき国民の教育に非常に専念してゐる、もう既にお聞き及びの事であると思ひますが次の時代のドイツの青年を教育する手段としましてはあのアルバイト・デンストを挙げなければならない、最近私があちらを発つ一週間前――私が発つたのは十二月

十二日でありましたがその一週間程前の新聞に新たに官吏、党のあらゆる方面の指導者を養成すべき學校が建設されるといふことが出て居りました、このアルバイト・デンストと党の學校を以ていよ〳〵意思鞏固な健康な、次のドイツを背負ふべき人間を作つて居るのであります、私はアルバイト・デンストには相當関心を持ちまして、必ずや日本にも近き將来には斯う云ふ様なものを採用しなければならぬ気運が起つて来るのぢやないかと思ひまして

あちらでは国政研究會の命令もありましたのでアルバイト・デンストの営舎を見學したり或はその本部を訪問するなどして、このアルバイト・デンストの制度に就ては相當調査して参りました、少し重複すると思いますがこのアルバイト・デンストはどういふものであるか、どういふ目的をもつてどういふ成績を擧げてゐるかといふことを簡單に申上げて見たいと思います、

このアルバイト・デンストの勤務年限は満十

七才から満廿五才迄であります、その間に半ケ年間―六ケ月間アルバイト・デンストの営舎に收容されまして、そこで強制的に労働に服する訳であります、年齢が満十れ才になって初めてアルバイト・デンストに收容されるのであります、が、その人員は全国でどれだけあるかといふと、アルバイト・デンストに收容される一年間の員數は世万人になって居ります、十九才になりますと強制的に男子はこのアルバイト・デンストに收容されるのであります、

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

徴兵検査と同じ様に入る前には體格検査が行はれ、体格の貧弱なるものは労働に服することは出来ません。ので勢い除外されて強健なる者のみ収容される訳であります。一年に世万人でありますから到底ドイツの全適齢者を収容することは出来ません、勿論全部のドイツの満十九才の人を収容する訳ではありません。がまあ兎に角国家としては強制的にやって居る訳であります、然らばこのアルバイトデンストはどういふ

國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

目的を持つものであるかと申しますと、先づ第一には此所に收容して労働と云ふもの、尊さを体験せしめるのであります、そして内体の鍛練をせしめると同時に党の政治教育を施すのであります、日課なんかは飜譯して此方に送つたものについて御覧下すつたと思ひますから再び申上げませんが、朝早くから夜遅く迄、其の間三时間位戸外で労働に服する、その餘暇は或は修養談をするとか、或は討論をするとか、主にアルバイト・デンストでは知

國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

識を注入するといふよりも技術的方面実際的方面を授けて居ります、これはドイツは歐洲大戰で非常に戰死者を出した為、その當時生れた子供の体位が非常に劣つて居るのでありまして、ドイツでは此の点を憂ひまして何とかこれらの体位を元に返さなければならないと努力し、アルバイト、デンストはこの国民の体位を向上すると云ふ大なる使命の下に作られた訳であります、然らばアルバイトデンストはどういふ事業

12. 3. 50,000 B
10 × 20
國政研究會

をやつてゐるのであるか、どういふことをしてこのアルバイトデンストに入つてゐる者に労働の――働く習慣をつけてゐるかと申しますと、勿論このアルバイトデンストは国家的のものでありまして、私のものでありません。営利事業ぢやない、従つて到底個人企業ではなし得ないやうな事業、例へば開墾事業であるとか、或はドイツの北方沿岸地方は海水によつて段々浸蝕され陸地が失はれて行くのでありますが、これに堤防を築くことによつて

國政研究會

失地を回復するといふやうなこと、或はドイツは非常に低地で到る處に沼地濕地がありますが、この濕地に溝を作つて排水をよくして普通の作物が出来るやうにするとか、或はドイツには到る處にじめ〳〵した森林がありますのでこのじめ〳〵したところに溝を作ることによつて排水をよくして、立派な役立つ樹木を育てる、或は雜木林を開墾してそこに有用な植物を植えるといふやうなことをやるのであります、或は又農繁期に勞働を提供する

――ドイツでは人口が極めて稀薄で個人當り非常に尨大な面積をもつてゐる、各家庭は非常に家族が少なく――ドイツの家庭は恐く二人の夫婦の中に二人半位の子供と思つて居りますが、ベルリンあたりでは一人半位平均だと言つて居りました、私等の接する範圍に於きましては子供のない家が非常に多かつたと云ふ樣な有樣であります、そこで農繁期になりますと、到底人手が足りない、さう云ふ樣な場合アルバイトデンストが駆けつけて勞働

を提供これを援助するのであります。然したらその援助する対象物は普通の農家即ち個人企業でありますので、従つて斯う云ふ様な場合には一般労働者の機會を奪ふおそれがあるので普通の労働賃銀と同じ様な代金をアルバイトデンストが取つて労働を提供すると云ふ様な工合になつて居るのであります、さういふ様にアルバイトデンストの目的は個人企業では到底なし得ない、個人企業では労力を投じても引合はない様な事業にアルバイトデ

ンストの勞力を投ずることによつて、国家に永遠の收穫を齎らす様な事業に專ら勞力を提供して居るのであります。

その結果は一体どうであります。かと云ふと、今日に於ては凡ゆる器具費、人件費が多額に要り、勞力を投じても直ちに收獲が今日目に見えると云ふ程のものでありませんので経済的には引合はないのでありますが、併し他方国民精神を注入するとか、体位を向上するとか、或は国民社會主義の思想を注入するとか

いふことによつてその経済的損失は充分補つて餘りがあると當事者は云つて居ります、今日は男子のみが強制的でありますが併し下ら近き將來は女子にも強制的にすると云ふことで今日段々準備を整へてゐるやうであります

アルバイトデンストの本部は私も行きましたが非常に尨大なものでありまして、ベルリンから一寸街續きのグルーネワルトに在りますが非常に新らしい建築であります、ドイツでは今日アルバイトデンストには非常に力を

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

注ぎ新聞でも毎日の様にアルバイトデンスト関係の記事を載せてゐるといふ狀態であります、

それから今一つ、次の時代の青年を教育する手段として、党の指導者或は国家官吏養成の學校でありますが、この方は私は新聞を見たバケでありまして、その法律は未だ出て居らないのぢやないかと思ひますが、そのアウトラインを申上げます、ドイツには昔のラントつまり州が全国に廿二ありますが、その廿二

州に一つのヒツトラー・シユウレを設立するのであります、そして全国から四千人の少年を集めて各州に公平に配分するのでありますが、その年齢は満十二才を以てヒツトラー學校に收容するのであります、此所で六ケ年間教育を施す、教育を施すと申しましてもそこには試驗はありません、又、論入學の際件格檢査はありますが、學力檢査はない、入つても學力による及落といふやうなことはない、專ら自學自習身体の鍛練、從つて非常に强健なる

心身共に健全なドイツの青年を養ふことを目的として居るのであります、それが済みますと十七才であります、それからあちらのジムナジウムを出た年齢となるのであります、斯様にして七年間を終了しますと、今度は各自を一旦解放するのであります、或者は自分の意志で大學に進む者もあり、又或者は職業教育を受ける者、又或者はナチスの党の細胞に入って党の組織に参加する者もあり、又或者は実際の生活に入る者もあると云ふ様にその間七ヶ年

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

は国家としては何等干渉することなく自由に進む道を撰擇せしめるのであります、その七ケ年の実生活、學生々活、職業生活が終りますと今度は前の四千人を一旦集めるのであります、この七ケ年の間には必ず何等かの職業を持たなければならぬ、それが次の學校に入る條件であります、今一つは必ず七ケ年間解放されてゐる間にアルバイトデンストを終了しなければならぬ、今一つは軍隊の矢役義務を終了しなければならぬ、それが次の學校に

入る條件になつて居ります。この七ヶ年間を
濟まして即ちアルバイトデンストを終るし
兵役の義務を終るし、何等かの職業教育なり
或は何等かの職業をもつた者が再び召集され
その四千人中から更に一千名が、一心身共に
強健なる者一千名が選拔されまして、これが
次の學校、オールデンスブルク、日本語で謂
へば道場とでも訳しませうか、此處に收容さ
れるのであります、この道場に於ける年限は
四ヶ年であります、今日では全國にこの道場

と名のつくものは七ヶ所あります。この道場は冬が来れば雪が降る所とか、或は風光明媚な所とか、海岸と云ふ様な所に建てられて、場生は四ヶ年間に各地の道場に收容されるのであります。海岸の近くの道場では飛行術を習ふとか、水泳を習ふとか、又雪の降る地方の道場ではスキー術をやるとか、雪の為枝が折れる憂ひのあるところの樹木に対してはその樹木の枝を切るとか、又風光明媚な所では凡ゆる方面の運動競技をやるとかこの道場で

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

は學科の方はお留守にして專ら肉体的方面、心身鍛練の方面に重きを置いてゐるのであります。こゝで四ケ年を経ますと、或者は更に軍隊に入って將校になるとか、或者は党の組織に入ってそれ〴〵の方面の指導者に任命されると云ふ様になるのでありますが更に最高の學校があるのであります、詰りこの四ケ年を経ますとその中から非常に優秀な分子が更に選拔されまして党の最高學校に收容されるのであります、そこでは專ら專門の教育を施

してその者が將來党の最高指導者或は国家の高い官職に就く知識を專ら與へ、或は大學の教師とか党の道場の教師と云ふ樣なものを專ら養成して居るのであります、

斯う云ふ樣にしてドイツでは非常に次の時代の青年を養成するといふ点に力を注いでゐるのであります。この点は少ずや將来刮目して期待すべき結果が見られると思います。日本へ今度歸って痛切に感ぜられることは非常に學生が一殊に大學の學生が優柔不断であ

るといふことです、その服裝を見ましてもも
う既に社會に出て実際の職業戰線に立つてゐ
る者より贅澤に思はれる樣な服裝をしてゐる
、日本は今日日支事變に再會して居りますが、
日本が発展すればする程我が国の国防戰線は
益々擴大されて、それに從つて国防費も多額を
要し、経済生活をはじめ凡ゆる方面の緊縮を
し各自が緊張しなければならない時機が必然
的に来ると思ひますが、斯う云ふ時機に際し
まして日本もドイツのナチスの制度そのもの

を全部鵜呑みにすることは差控へるべきであります、が、い、制度は極力採用しなければならない必要性があるのぢやないかと思つて居ります、御承知の様にドイツでは大學教育を受ける男子は何れもアルバイトデレストを経なければならず、女子にしても大學教育を受けんとする者はアルバイトデンストを経なければならないと云ふ様になつて居ります、国家が多大の国費を投じて国民の教育をなす以上優秀不断にして内体的欠陥ある者を教育する

ことは非常に無駄である、大學教育を施す以上やはり肉体精神共に健全なものを入れなければならないといふ教育方針を今日のドイツは採つて居るのであります。

然らばドイツの内部はさうとしてドイツの国際的の地位は今日どうであるか、私見でありますがちよつと感じたことを申上げて見たいと思ひます、ドイツは先程も申上げました様に今日流行つてゐる言葉で申しますと所謂「持たざる国」の範疇に入る国であります、ドイツ

國政研究會

は農産物を自給自足する為にはどうしても領土を取らなければならぬ、農産物の豊富に出来るところを取らなければならない、或は植民地が必要でありませう、殊にドイツはロシヤのウクライナ地方に垂涎措かないといふことを聞いて居りますがこれはドイツの現状に於ては止むを得ないことであります、斯様に貧困な為どうしてもドイツは国外に発展しなければならない、従ってそこに国際的の摩擦が起ることは必然であります、然るにドイツ

は既にベルサイユ條約で軍備が制限されてゐるので、伸びんとしても急速には到底発展の実力を有しない、第一伸びんとすれば海軍力が要ります、然るにドイツは北海の小部分に、北で僅にバルチック海に面してゐるだけで而もバルチック海は海峡をもつて塞がれてゐる、すぐおれば強大な海軍力を有するイギリスが控えてゐる、さういふやうな状態にあります、独逸はどうしても自己の力のみを以てしては国外に進出することが出来ない、そこ

にドイツは東洋に友を求めなければならなかつた、こゝに日本を發見した訳であります。それから歐洲では非常に国際関係が複雑して居りますので、日本と結んだだけでは十分でない、どうしても歐洲に友を求めなければならない、そこに必然的に持たざる所のイタリーを發見した訳であります。日独伊の協定はドイツの現状としては止むを得なかつた。ドイツとしてはどうしてもその途をとらなければならなかつたのであります。私は思ふのであります。

國政研究會
12. 3. 50,000 B
10×20

然らばイタリー及び日本と結んだドイツは早急に牙をむき出せるかどうかとゝふ問題になると、まだなかなか実力が足らない、多大の国費軍備費がかゝり、これも軍備の一つでありますが、自動車網の完成に突進してゐる、斯様な状態でドイツは独力では直ちに今日牙をむき出すことは出来ない、ドイツはフランスと云ふ様なものは殆んど念頭に置いてゐない様であります、何と云つてもイギリスの経済力に非常な関心を持つてゐる、従つて今

日早急にイギリスを向ふに廻すことが出来ないそこにドイツとしては大なる憾みがあるのであります、又ドイツは歐洲大戰に於て実際に戰爭の悲慘を体驗したのでありまして、今日でも大戰に参加したものが党の相当重要な地位を占めて居ります、それ等の人は戰爭の悲慘な事をつくづく痛感して居ります、我々が街に買物に行きましてもよく聞く言葉ですが「シエルクリッヒ」伺と謂いますか戰爭は恐ろしい嫌だと云ふ様な言葉を耳にするのであります

す、斯様に国民的に戦争を恐がつてゐる、殊に欧洲では隣国が接壤して居るのでありまして一旦戦争が起るやその結果は非常に悲惨である、そして彼等は今度の日支事変につきましてもその様な考へから非常な悲惨さを豫想して居るのであります、私は今日ドイツが直ちに立つて欧洲を敵に廻すと云ふ様なことは到底考へられない、たゞドイツは軍備を擴充することによつて外国に脅威を與へる、それによつて所期の目的を貫徹しやうといふ、こ

國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

れがドイツの外交政策の中心をなしてゐるのぢやないかと妙様に感ずるのであります。

以上非常に断片的でありますが、ドイツに就てはこの位にして、次に然らば、私が遍歴しました欧洲諸国に対する感想はどういふものであるかといふことを極く簡単に申上げて見たいと思ひます、

◇

私はドイツを発つて次に訪問した處はスイスであります、スイスは、御承知の様に小国で

あり、従って各個人の生活と云ふものが非常に安定してゐる、又隣国人との関係が密接である為政治家と云ふ様なものの言動を非常によく知って居るのでありまして、ス井ス人は決して政治家の煽動と云ふ様なものに乗ることがない、更に経済生活に於きましてはス井スでは富の分配が飽程平均されてゐる、狭い地域でありますが、然し大部分のものが一普通の労働者と雖も自己の土地を所有してゐる、ス井スではチユーリツヒが大都市で人口廿

五万に達してゐるが、此處では他の国の大都市に附物でありますルンペン式労働者が殆んどない、各人の経済力は相当に充実して居り、従つてスヰスでは労働問の問題は左程起らないのであります、従つて依然としてスヰスではあゝいふ様なデモクラチツクな政治が行はれて居るのであります、申し遅れましたがスヰスでデモクラチツクな政治を行い得る援けとなつてゐるものは何と云つてもスヰスでは国防費が要らないと云ふことであります、最

近ス井スもその中立性が危殆に瀕して大分国防と云ふものに関心を拂ってゐるやうでありますが、併し乍ら何んと言ってもあの小国で軍備を整へると言ってもそれは知れたもので す、従って国防費が掛らない、その為経済生活、社會生活は非常に潤澤となり、之がスキスをしてデモクラシーの政治を行はしめてゐる大きな原因となって居るのであります、

更にフランスに入ったのでありますが、僅か一ケ月位で、とゝには二年もフラレスに居

られた根岸さんが居られますので、私の感想はどちらか、定めし御異論があると思ひますが、たゞ私の感じたまゝを申上げますと、フランスは既に国家的に非常に萎縮してゐる、もうドイツに太刀打ちが出来ない、何んとかしてイギリスと歩調を一つにして国際場裡にデヴユーしやうといふ心構への様であります、個人生活にしましてもドイツ人は相當緊張して居りますが、フランスに行きますと、男女とも非常に性生活に疲れた様に感じられるので

あります、承りますと今日フランスは美術の方面に於ても既に過去の国家であり、将来性のない国家であると謂ふことです、

次にはイギリスであります、私はイギリスでは僅か廿日間の滞在でありましたがこの間労働党の本部や保守党の本部を訪ね、議會の傍聽その他名所見物などをして参りました、

イギリスに於て受けた印象は何と云つても世界の富がイギリスに集中してゐると云ふ感じであります、あのロンドンの大英帝国博物館

あの膨大なる宝物が蒐集されてゐるロンドン博物館にして一銭の入場料も取らない、又道を通つて見ましても路傍にある屋台店で賣つてゐる果物、その果物に致しましても実に見事なものでありましてドイツでは第一流の店に行つても発見する事が出来ない様な立派なものであります、斯様にイギリスは富と云ふものが非常に蓄積されてゐる、イギリスは御承知の通り保守的の生活をして居りますがこの保守的の生活をなし得る所以のものは

國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

やはりあの莫大な富を有してゐるからだらうと思ひます、又政治方面に於きましてもイギリスが世界の政党員が重誕措かないところの二大政党を有する立憲政治を行い得る所以のものはやはり富の為であると思ひます、そしてイギリスに於ては何と云つても社會政策が徹底して居り社會立法が完備してゐる為失業者が出ましても失業救済費があると云ふ訳で労働者一般は左程窮迫してゐない、従つて労働者を基礎とするイギリス労働党と云ふもの

も決して過激に走らない、イギリスでは共産党も許しては居りますがその力は極めて微々たるものでこれはイギリスの労働者が何と云つても生活に相当の餘裕があると云ふ点が然らしめてゐるのぢやないかと思ひます、保守党は成程名は保守党でありますがその政綱を見ますと日本の無産党が主張する位のことはイギリスの保守党ではもう常識になつて居るのであります、イギリスの各政党は常々非常に勉強してゐ

る、その為してゐる印刷物は実に尨大であります、私は労働党を訪問しましてそこで非常に沢山、恐らくは二百にも上るパンフレットやリーフレット、ビラと云ふ様なものを貰い受け参考にしやうと思つたところ早速送つてやらうと云ふ様なことでこちらに到着して見たら既にその一部分が送り届けられて居りました

さういふ様に政策の研究には非常に熱心であつて随時国民を啓発する様な自己の政策を発表し宣伝することに意を用い、国民生活の

安定に努力して居るのであります、又保守党も労働党と同じでありますしてその出版物は非常なものであります、随時色々な問題を取り上げて国民に自己の方針を徹底せしめて居ります、斯様にイギリスの政党は非常に熱心でありましてこれがイギリスの政党をして今日尚依然として国民の間に信頼を有せしめてゐる所以ではないかと痛切に感じた次第であります、

次にはチエツコでありますが、チエツコは

素通りした程度でありまして、たゞ親露政策をとつてをり反独的であつたと云ふ位で別段申上げる事はございません。

次はオーストリーでありますオーストリーはもとゝドイツ人でありますからドイツ的の生活をし又ドイツ人的の性格をもつてゐるのは云ふ迄もない事でありますその政治組織は然らばどうなつてゐるかと申しますとオーストリーは南方のアッシヨイタリーの影響も受けず、又同民族でありますドイツの

影響もさう大して受けてゐない。非常に敬虔なカトリック教徒が国民の大部分を占めて居りますのでローマ法王がおしたところの教書に非常な影響を蒙りまして今日欧洲では新らしい国家として全政治組織国家組織が職業代表的になって居ります、私は既にあちらに参る前にオストリヤが職業代表制を採用されたことを知って居り――而もそれが空文であり未だ実現されてゐないと云ふ事を耳にして居つたのでありますが、今度行って見たら

もう既に実行されてゐる、數多の法律命令が発せられ、職業代表の組織の完成に力を注いでゐると云ふ事が発見されたのであります、此の点を申上げますと長くなりますので省略致します、職業代表と云ひますと大井大でも數多の議會に法律案が提出され或洲では既に実行に移されてゐるといふことであります、欧洲で職業代表が斯様に段々普及発達しつゝあるといふのは勿論やはり欧洲では職業組合が既に発達してゐる為で日本ではその基礎と

なるべき職業組合が発達してゐない、更に政
洲では何と云いましても労資の対立が激しく
餘り労働問題がやかましくない又井スに致し
ましても日本から見ればその労資の対立は深
刻である、オーストリー又然りである、斯様
な訳で労資対立これを何とか克服しやう、これ
を克服するにはどうしたらいゝか、これに各
国とも頭を悩ましし、或ものはス井ス式、或も
のはドイツ式、或ものはイタリー式になるの
でありませうが、何としてもデモクラシーに

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

馴れた国ではドイツ式になることも又イタリー式になることも欲せず、サリとてロシヤには向い得ず、こゝに職業制度にその途を発見したのであります。オーストリーでは勿論今日各政党は存在しない、すべてが職業團体的に組織されまして議會を構成するものは職業團体であります。私がウヰーンで受けた感じはオーストリーは今日非常に平静であると云ふことであります、ハレかりしに就てはこれも別に申上げる程

きのこともありませんが、ハンガリーは非常に議會が立派であります、私は歐洲の各国の議會を見て来たのでありますがハンガリー程立派な議會を私は見たことがなかつたのであります、成程イギリスのテームス河に面してゐる議會は古色蒼然として落付のあるものでありますが、ハンガリーの議會はそれとは趣きを異に致しまして非常に輪奐の美を極めたものであります、私が訪問した時にも事務の人が内部を引張り廻してくれましたので充分見て

のこともありませんが、ハンガリーは非常に議會が立派であります。私は欧洲の各国の議會を見て来たのでありますがハンガリー程立派な議會を私は見たことがなかったのであります。成程イギリスのテームス河に面してゐる議會は古色蒼然として落付のあるものでありますが、ハンガリーの議會はそれとは趣きを異に致しまして非常に輪奐の美を極めたものであります。私が訪問した時にも事務の人が内部を引張り廻してくれましたので充分見て

参りましたが実に立派なものであります、あといふ議會をもつてゐるところからそこの政治組織は相当整つたものであると云ふ事が察せられるのでありまして、依然としてデモクラシーの政治が行はれる餘地があると云ふ氣持を受けるのであります、ハンガリーは依然としてデモクラシーの政治が行はれて居ります、反対党と政府党が対立してハンガリーが欧洲大戦に於て失つた土地を回復することに国民は非常な関心を拂つてゐると云ふ事であ

No.
國政研究會
12. 3. 50,000 B
10 × 20

ります、これは案内人が繰返し〳〵言つたことであります、なほこの案内人に聞いた所では、今日上院の改革がハンガリーでも問題になつてゐると云ふことであります、新聞を通して見たところでも、まだ詳しくは出て居りませぬが、さう云ふ議案が議会に提出されたと云ふことを見ました、

次はイタリーであります、イタリーへ行つて驚くことは、何と言つてもドイツから見ますと、イタリーは非常に文化の遅れた国家

であると云ふことです、寧ろその文化生活から見ますと、イタリヤは欧洲でも第二流の国家に属するのぢやないか、人種的にもドイツよりは遥かに劣等である、街には非常に見すぼらしい風をした者が多い、街を行くと子供が煙草を吸れとか、金を吳れとか、さう云ふ要求をなす程で、個人々々の教養はとても問題でない、日独伊防共協定には非常に喜びを感じたと見えて、われ〳〵に対しても万歳を叫んだりするが、これ等もドイツではこの協定

の本家である故、非常な喜び方であるには違ひないが、ドイツ人の教養かちわれ〳〵に対しても之を露骨に万歳を叫んだりはしない、所がイタリーでは露骨に「日本万歳」と云ふ様なことを口にするのであります、それからイタリーでは坊さんが非常に多い、殊にローマではその感が一入深いのであります、これは勿論カトリックの本場法王のおる處でありますから止むを得ません、然しこの点から見ましてもイタリーには何と云つても古い制度が残

つてゐる、ドイツと比較して見ると多分にドイツよりは自由と云ふ様な方面が残されてゐる。さて然らば今日のムツソリーニ政權は万一ムツソリーニがどうかなつた時顛覆するかどうかと云ふ、これに対する感想であります。

が、私共の受けた感じでは、でも亦ドイツと同じ様に人心收攬の爲色々な事をやつて居り、又次代の青年教育に力を注ぎそのファッショ組織は相当に確立されてゐるのでムツソリーニに万一の事があつてもイタリーの現政

権は直ちに顚覆する様な事はないと私は見て居ります、

以上甚だ簡単な分り切ったことを申上げましたが、最後に たゞ一言申上げたいことは、然らば今後日本の政治組織を一体如何にすべきであるか、今日は日支事変のため、斯う云ふ様な状態に置かれざるを得ない様な状態でありますが、併し乍ら日支事変が片附かぬうちに政党の一部が期待する様に、政党に昔が還つて来るかどうか、又一部の者が目論んでお

る様にドイツ式の政治組織と云ふものを日本に移入することが出来るかどうか、この問題でありますが、政治組織の基礎をなすものは経済状態であり、社会状態であり、又過去の長き歴史であり、更にそれによつて培はれた国民性であり、又多分に国際関係も作用して居るため、これ等を皆異にしてゐるイギリス流の政治組織をそのまゝ日本に取入れんとしてもそれは無理であります、イギリス流の立憲政治を日本に採用するには、先づイギリスが

その立憲政治をなし得たゞけの少くとも富を日本は有しなければならない、これが日本に議會政治或は政党政治を復活せしめる上に於ける第一の要件であります、然らば日本はイギリス程の富をもたないから、持たざる国家であるから、持たざるところのドイツの政治組織をもつて來ることが出來るかと謂へば、これも亦、私は採用すべきぢやないと言はざるを得ないのであります、それは明かに日本とドイツの経済状態は異つて居りますし、その

社會狀態も異つて居りますし、勿論歴史は異つて居り從つて国民性にも相違がある、又国際関係から見ましても、ドイツは直に隣国と接壤してゐるが、日本は幸ひ海に囲まれ、隣国にはさう強大な敵国がない、斯様に日本とドイツは凡ゆる方面に於て事情が異つてゐるので、矢張り日本の採用すべき政治組織は決してドイツ流そのものであり得ないと信ずるものであります、然らば日本に一体合致、適合する政治組織はどうかふものであるかと云ふ

と、これはなかなか困難な問題で、早急には決定し兼ねることでありまして、これは経済組織、社會狀態、或は歷史を研究することによつて、總ての者が相協力して、明日の新たなる日本の政治組織の發見に努めなければならぬと、さう云ふ教訓を私は欧洲の歷遊から學んで歸つて參つたのであります。

　　洵に詰らないことを申上げましたが、若しも何か皆樣が御質問でもございましたら、それにお答へすることにして埋合せを致したい

と存じます。

(3)

群馬県立図書館
0706582-4